

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
凝固止血検査学実習	2年次	必修	実習	1単位（45時間）	五十嵐康之 ※
授 業 概 要					
凝固系の検査の測定原理と臨床的意義について実習する。用手法による凝固系の検査では、判定に熟練を要するのでこれらの習熟に努める。また、用手法をもとに検査機器の原理と判定について推論する。採血の実習を行い患者様の痛みを理解する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ正しく採血を行うことができる。 ・用手法から基本技術をマスターする。 ・結果を正しく判定できる。 ・各種検査の理論及び臨床的意義を説明できる。 ・検査の基準値を列挙できる。 ・検査結果から疾患を類推できる。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1-5 6-10 11-15 16-20 21-23	出血時間（デューク法）、毛細血管抵抗試験、カルシウム再加時間 APTT、交差混合試験、PT、フィブリノゲン定量（トロンビン時間法） 自動分析装置測定（PT、APTT、交差混合試験、フィブリノゲン定量） 全血凝固時間、血小板凝集能試験 トロンボテスト、FDP（ラテックス凝集反応）				五十嵐康之 ※ 選考中
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書及び配付資料をもとに復習をするとより理解できる。 ・不明な点は必ずその場で解決すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実習試験等（60%）及びレポート（40%）による評価を行う。 ・レポートは評価基準に従い評価し、これを満たさない場合は評価しない。 ・再試験ではレポートの再評価はしない。 ・やむを得ない事由による欠席の場合は、補習実習を行う。 					
先 修 科 目					
生物学、解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、解剖生理学Ⅴ、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、病理学、基礎医学実習					
教科書、参考書					
[教科書] 最新臨床検査学講座 血液検査学 奈良信雄 他 医歯薬出版 病気がみえる vol. 5 血液 土屋達行 他 MEDIC MEDIA 標準採血法ガイドライン 日本臨床検査標準協議会(JCCLS) [配布資料]					